

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年6月20日 曜日

## ポップアップLOVの一覧にツールチップを表示する

ポップアップLOVの一覧にポインタを当てたときに、ツールチップを表示させたい、という要件がありました。以下のような感じです。

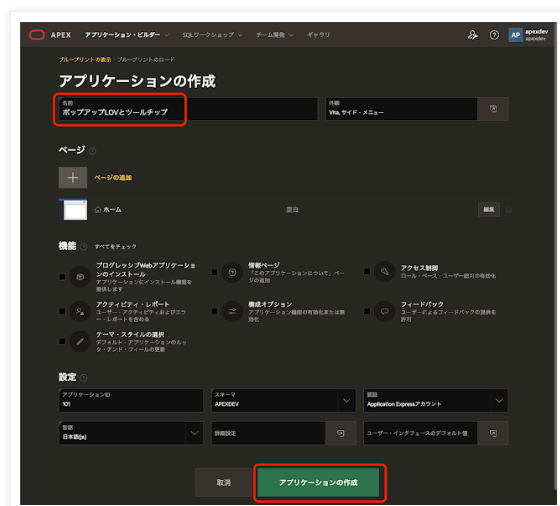


以前の記事「[モーダル・ダイアログに重ねてモーダル・ダイアログを開く](#)」の3つ目の例として、ポップアップLOVの表示を変更する方法について紹介しています。これから説明する方法も、ポップアップLOVのrecordTemplateを使ってカスタマイズを行います。

以下より、実装方法を紹介します。Always FreeのAutonomous DatabaseのAPEX 21.2を使用します。

準備として、**サンプル・データセット**のEMP/DEPTをインストールしておきます。LOVのソースとして、EMP/DEPTに含まれるビューEMP\_DEPT\_Vを使用します。

**アプリケーション作成ウィザード**を起動し、ホーム・ページだけを含むアプリケーションを作成します。



ポップアップLOVのソースとなるLOVを作成します。

共有コンポーネントのLOVを開きます。



作成済みのLOVの一覧が表示されます。作成をクリックします。



LOVの作成として最初からを選択します。

次へ進みます。



LOVの名前をEMPLOYとします。タイプはDynamicを選択します。

次へ進みます。



データ・ソースとして、ローカル・データベースを選択します。ソース・タイプはTable、表/ビューの名前としてEMP\_DEPT\_V(ビュー)を選択します。

次へ進みます。

LOVの作成

LOVソース

データ・ソース: ローカル・データベース

ソース・タイプ: Table

表/ビューの所有者: APEXDEV

表/ビューの名前: EMP\_DEPT\_V(ビュー)

次

デフォルトで戻り値はEMPNO、表示列はENAMEになります。

変更せず、次へ進みます。

LOVの作成

列マッピング

戻り列: EMPNO

表示列: ENAME

作成

LOVとしてEMPLOVが作成されます。追加表示列の設定を行うため、リンクをクリックして編集します。

名前	タイプ	数値	エントリ・カウント	サブタイプ名	サブタイプバ
EMPLOV	ローカル	1項目			
LOGIN_USERNAME	静的	40桁	1		

追加表示列の列の選択をクリックします。

LOV: EMPLOY

名前: EMPLOY

ソース: データ・ソース: ローカル・データベース

ソース・タイプ: ソース・タイプ: SQL問合せ

再/ビューの再検索: APDDEV

再/ビューの名前: EMP\_DEPT\_V(ビュー)

WHERE句:

列のマッピング:

再/再: EMPNO

表示: DNAME

デフォルトのソート: DNAME

ソート方向: 昇順(Nulls Last)

グループ: - 未定義 -

グループ・ソート方向: 昇順(Nulls Last)

アイコン: - 未定義 -

Oracle Text用: - 未定義 -

追加表示列: **列を追加**

追加表示列は、検索の表示列をサポートするアイテム・タイプ(デフォルトはEMPLOY)に対して定義されます。検索列をサポートしていないアイテム・タイプでは検索はできません。表示列を追加する場合、列リストに追加列が追加されていることを確認してください。再/再がユーザーに対して表示されないようにする場合、再/再の「検索可能」を「いいえ」に、「検索可能」を「いいえ」に設定する必要があります。

サブスクリプション: マスター・LOVの参照元

マスタ・LOVの参照元:

リフレッシュ

このLOVは共有コンポーネントの一部です。

このLOVをサブスクリプトするLOVがありません。

追加表示列としてDNAMEとLOCを追加し（シャトルの左から右へ移動する）、**更新**をクリックします。

追加表示列の選択

列の選択:

JOB (Varchar2)

MGR (Varchar2)

HIREDATE (Date)

SAL (Number)

COMM (Number)

DEPTNO (Number)

EMPNO (Number)

DNAME (Varchar2)

LOC (Varchar2)

更新

追加表示列への列DNAMEとLOCの追加を確認し、**変更の適用**をクリックします。

LOV: EMPLOY

名前: EMPLOY

ソース: データ・ソース: ローカル・データベース

ソース・タイプ: ソース・タイプ: SQL問合せ

再/ビューの再検索: APDDEV

再/ビューの名前: EMP\_DEPT\_V(ビュー)

WHERE句:

列のマッピング:

再/再: EMPNO

表示: DNAME

デフォルトのソート: DNAME

ソート方向: 昇順(Nulls Last)

グループ: - 未定義 -

グループ・ソート方向: 昇順(Nulls Last)

アイコン: - 未定義 -

Oracle Text用: - 未定義 -

追加表示列: **列を追加**

追加表示列は、検索の表示列をサポートするアイテム・タイプ(デフォルトはEMPLOY)に対して定義されます。検索列をサポートしていないアイテム・タイプでは検索はできません。表示列を追加する場合、列リストに追加列が追加されていることを確認してください。再/再がユーザーに対して表示されないようにする場合、再/再の「検索可能」を「いいえ」に、「検索可能」を「いいえ」に設定する必要があります。

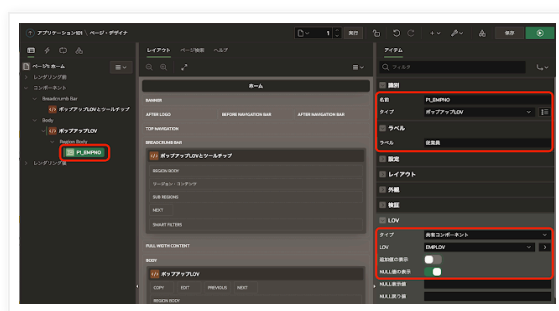
番号	再/再	再/再	ヘッダー	データ型	検索可能	検索可能	表示マスク
10	EMPNO	-	NUMBER	No	いいえ	-	
20	DNAME	Dname	VARCHAR2	Yes	はい	-	
30	LOC	Loc	VARCHAR2	Yes	はい	-	

合計: 4

以上で、共有コンポーネントのLOVが作成できました。

ページ・デザイナーでホーム・ページを開き、静的コンテンツのリージョンポップアップLOVを作成し、そのリージョンにページ・アイテムを作成します。

識別の名前をP1\_EMPNO、タイプはポップアップLOV、ラベルは従業員とします。LOVのタイプに共有コンポーネントを選択し、LOVとしてEMPLOVを選択します。追加値の表示はOFF、NULL値の表示はONとします。



この状態でアプリケーションを実行すると、ポップアップLOVは以下のように表示されます。



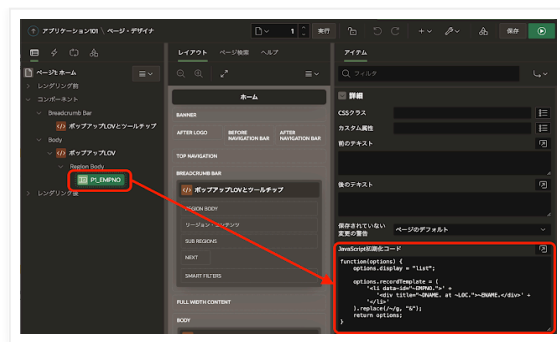
ポップアップLOVにカスタマイズしたrecordTemplateを設定します。ページ・アイテムP1\_EMPNOの詳細のJavaScript初期化コードに以下を記述します。

```
function(options) {  
    options.display = "list";  
  
    options.recordTemplate = (  
        '<li data-id=~EMPNO.>' +  
        '<div title=~DNAME. at ~LOC.>~ENAME.</div>' +  
        '</li>'  
    ).replace(/~/g, "&");  
    return options;  
}
```

record-template.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

recordTemplateで使用している置換文字列が~EMPNO.といった形式になっています。これは、\$EMPNO.記述すると、JavaScript初期化コード自体で置き換えられてしまうためです。recordTemplateには置換文字列として~EMPNO.を使い、recordTemplateに設定した後に、~から\$へ文字を置き換えています。



recordTemplateを適用すると、この記事の先頭の画像のように、ポップアップLOVの一覧でツールチップが表示されます。

以上で実装は完了です。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/popup-lov-and-tooltip.sql>

Oracle APEXのアプリケーション作成の産駒になれば幸いです。

参考にした記事

[Popup LOV custom template](#) by Louis Moreaux, Oct 18, 2021

[All the Things That Pop Up](#) by John Snyders, Dec 23, 2019

完

Yuji N. 時刻: 15:47

共有

< ホーム >

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.